

税理士の探し方マニュアル

要印刷手元保存

(株)アルフェアエンタープライズ

最適税理士探索ネット運営局

<http://www.zeitan.net>

— 目次 —

1. はじめに	3
2. 顧問税理士を雇うべきか（税理士に業務を依頼すべきか）	4
3. 税理士はどうやって探すか	6
4. 税理士の報酬の相場は？	10
5. 税理士に何を依頼すればよいのか	12
6. 税理士と会うときに聞くべきこと（リスト）	13
7. 税理士探し方マニュアル（まとめ）	15
8. 税理士と付き合い上で覚えておくべきこと	16

1. はじめに

これをご覧いただいている方は、

- 税理士に業務をお願いすべきか否か迷っている
- 税理士に業務をお願いしようと思うけど、「安くて質の高い自分のニーズにぴったり」な税理士を探す方法が知りたい

という方がほとんどだと思います。

以下では、そのような方の悩みを解消すべく“税理士の探し方マニュアル”を伝授しようと思います。なお、このレポートは“最適税理士探索ネット”スタッフによる経験、知識を元に作成されているものなので、皆様にとって100%のものでないかもしれませんが、できるだけオーソドックスなケースを想定し皆様のお役に立つことができると考えております。

さて、ここでは「税理士の探し方」について記述しますが、主にビジネスをやる方が「顧問税理士」を探すときのマニュアルだとお考えいただきたいと思います。その他、相続相談や株価算定等で単発的に税理士に業務を依頼したいという方もいらっしゃると思いますが、基本的に考え方は一緒ですので、このままお読みください。

なお、このレポートは税理士を探す際の「手引き」のようなものなので、税理士が見つかるまでは印刷の上、手元に置いておかれることをおすすめします。特に税理士に実際にお会いする前には必ず一読されるとよいでしょう。

2. 顧問税理士を雇うべきか (税理士に業務を依頼すべきか)

まず、ビジネスを行う上で顧問税理士を雇うべきか否か (税務関連業務を、税理士に依頼すべきか否か)。結論から言うと、**絶対に顧問税理士を雇うべきです。**ビジネスを行う上で顧問税理士の設置は制度 (法律等) で求められているわけではありません。そのため、必ず雇わなければならないということではありませんが、それでも顧問税理士を雇うべきです。ご自身が税理士である場合は別かもしれませんが、会社を始めたばかりのいわゆる1人会社から、優秀な経理スタッフを何人も抱える上場会社に至るまで顧問税理士の存在は「必須」でしょう。顧問税理士を雇わずに痛い目にあう会社は数知れず、逆に顧問税理士を雇って失敗だった、「社内で」全てやれば良かったという意見を今まで聞いたことがありません (他の税理士にすれば良かったというのがあります)。

顧問税理士を雇うべき理由は大きく2つあります。

【専門性】

税理士は税金に関する専門家のことですが、大きくいうと「経理」「財務」の側面も含め、お金や数値に関する専門家と言えます。どのようにしたら、税金が正しく計算できるのか、税金を安く済ませる方法はないか (節税)、資金繰りに問題はないか、ビジネスの採算はとれているか、といった視点で経営にアドバイスをくれるはずです。

資金繰りの把握、ビジネスの採算性、ご自分で把握できますか? その方法は間違っていないですか? 特に税制は毎年変わるもので、これを自らフォローできますか?

税金の専門性については税理士に勝る存在はおらず、会計士や熟練の経理マンだって税金のことに関しては税理士に相談します。

あなたのその処理、正しいですか? 脱税になりませんか? 或いは税金を払いすぎる結果になりませんか?

税制はかなり複雑です。高度な専門性が必要である点にご留意ください。

税理士の専門性はそれだけではありません。通常は色々なお客さんを持たれていたり、ネットワークがあるため、あなたのビジネスが属する「業種」「業界」についてもかなり詳しく知っています。税金やお金の相談だけでなく、ビジネスの良き相談相手になってくれるでしょう。

【経済性】 (税理士を雇うのは結果的に割安なのです)

もしあなたが顧問税理士を雇わない場合、ご自分で税理士がやってくれることを担当するでしょう。或いは人を雇ってやってもらうでしょう。どちらにしたって「割高」です。

このレポートの無断転載、税理士を探す目的以外での無断利用を禁じます

あなたの時給はいくらですか？その業務を完璧にこなすのに何時間かかりますか？人を雇うのにいくらかかりますか？

今は、経理業務、税金計算、税務申告、給料計算、年末調整といったあらゆる間接業務を全て行ってくれて月間数万円程度（会社の規模やサービス内容によって値段は上下するでしょうけど）という税理士のサービスがゴマンとあります。

今の経営状況では資金面の問題で税理士を雇うことができないのでは、と頭ごなしに考えている方もいらっしゃるかもしれません。でも、問題ありません。あなたの状況を勘案してサービスを絞ることで、格安で面倒見てくれる税理士もたくさんいます（業務は限定されますが、年間数万円程度でやってくれる税理士もいらっしゃいます）。

いずれにしても、税理士が味方にいるのといないのでは雲泥の差です。

あなたは東京から大阪まで行こうと思ったとき、自分の力で（歩いて）行きますか？おそらく新幹線や飛行機を利用されますよね。お金がなければ深夜バスとか各駅停車で行きますよね。歩いていく場合、方向が合っているのか、いつ到着するのかといったことが読めません。あえてチャレンジしようと思わない限り、充実したサービス（交通機関）がある以上、それを利用しない手はないでしょう。

税理士を雇うか否かも全く同じです。雇わないということは、東京から大阪まで歩く概念と一緒にです。

ビジネスを行う場合、まずは税理士を雇う！という決心をしてください。それがビジネスを成功させる上での必須条件となります。お金（顧問料）の問題は二の次です。きっと何とかあります。

※ 後述しますが“最適税理士探索ネット”を利用すれば、費用面も含めリクエストに応えられる税理士がきっと見つかります。

3. 税理士はどうやって探すか

では、税理士はどのように見つけるべきでしょうか。

色々な税理士（5人程度でOK）に会って話を聞き、自分で料金やサービスを比較し、金額面、サービス面で納得できる税理士（事務所）に依頼する

（後述：上記を簡単に行うために“最適税理士探索ネット”を利用する！）

というのがベストな答えではないでしょうか。中にはそのように探すのは難しいし面倒だと考える方もいらっしゃると思いますが、絶対にそのように探すべきです。あなたにとって最も重要なことは、ビジネスを成功させることや今抱えている問題を解決することです。そのためには費用対効果が高く、あなたにとって「最適」な税理士を顧問に選ぶことがとても重要となります。

「税理士なんてみんな一緒でしょ」とお考えの方がいらっしゃるかもしれませんが、医者や弁護士のサービスや専門性が違うように、税理士も歩んできた過程によって、やり方、サービスの内容、専門性等が異なります。

「税理士業務なんてよく分からないし、どんな話を聞いたら良いか分からないよ」という方は、だからこそ実際に税理士に会ってどんなサービスをやってくれるのか聞くべきなのです。他の誰よりもサービス内容などを親切丁寧に、分かりやすく教えてくれるはずですよ。しかも複数の税理士に会って話を聞けば（5人程度会えばOK）、その内容の理解が深まるでしょうし、料金やサービスの相場感も把握することができるでしょう。

税金の計算をするだけで、何の相談にも乗ってくれない税理士に、割に合わない高い報酬を払っている会社はとて多いですが、税理士を選ぶ際の「怠慢の結果」に過ぎません。

自分に適した良い税理士を探すために、最初の手間を惜しむべきではありません。

あなたは高額なモノやサービスを購入するとき、色々調べ、比較して購入しますよね。それと一緒に。税理士のサービスはよく分からないから、誰かのお薦めで決めればいいや、というのはナンセンスです。自分で一番欲しいものを買うべきであり、誰かのお薦めは自分の考えを固める上での「参考情報」ととどめる必要があります。

その意味で、**税理士を「友人の紹介」「仲介業者からの紹介」「税理士会からの紹介」といったことのみで決めてしまうのはかなりリスクー**だといえます。

確かに、誰かの紹介を受ける場合、紹介者が信用できる人なら、税理士もある程度信用できると思います。でも、紹介者にとってベストかもしれない税理士はあなたにとってベ

このレポートの無断転載、税理士を探す目的以外での無断利用を禁じます

ストとは限りません。もっと自分の業種に詳しくて、積極的に面倒を見てくれ、安価で行ってくれる税理士がいるかもしれません（というよりきっといます）。「紹介」は、そういう自分に最適な税理士との出会いの機会を喪失させてしまうかもしれません。だって断りにくいじゃないですか。仮に断るとき、税理士と紹介者の両方に謝らなければいけないので面倒じゃないですか。

仲介業者も、「多くの実績を元にあなたにぴったりの税理士を紹介します、何人でも紹介します」といったことを謳っていますが、手っとり早くマッチングを成立させるのが彼らの儲けにつながるので、できるだけ断らないでほしいというのが本音となります。

また、仲介業者は一般的に報酬を税理士からもらうため、あなただけでなく税理士の顔も立てる必要があります。そのため、本音ではお薦めでない税理士をあなたに紹介するなど、情報を限定したり特定していたりするかもしれません（商売をする上では、売りたいものでも売らなければいけない場合もありますよね）。

ただし、ここで言いたいのは、「紹介」がNGということではありません。『色々な税理士に会い、自分の判断で納得できる税理士に依頼する』というプロセスの中で、「紹介」はあくまで選択肢の一つに留めるべきだということです。本当にベストだと思わない場合は断るぞ！という覚悟をもって「紹介」を受けることが重要です。

では、『色々な税理士に会う』ために、どのように税理士を探したらよいのでしょうか。手段はいくつかあります。

(1) インターネットで探す

現在はホームページを作成している税理士（事務所）、会計事務所がたくさんあります。ホームページには、業務内容や経歴、報酬基準などが丁寧に書かれている場合が多く、税理士に実際に会う前に、ホームページ上で自分に合うか否か吟味することができるでしょう。

(2) 電話帳で探す

ホームページを持っていない税理士（事務所）、会計事務所はまだまだ数多くあります（というよりこちらの方が圧倒的に多い）。当然ながらホームページを持っているか否かは業務の質の良し悪しに直結するものではありません。そのため、「近所の税理士」に「できる限り多く会いたい」という場合には、電話帳で探すのも手かもしれません。ただし、インターネットで探す場合と異なり、実際に会うまではその税理士について「何も把握できない」という欠点があります。自分に全く合わない場合（年齢、規模、業務内容等）、その税理士とのアポイントの時間は無駄になってしまいます。

(3) 紹介してもらう

上記では紹介について若干批判的に書きましたが、これも税理士に会うきっかけの一つです。後腐れがなければ、バンバン紹介してもらっても構わないと思います。

(4) ダイレクトメールなど

会社を設立すると、税理士事務所等からダイレクトメールが送られてきます。これも税理士に会うきっかけとなります。ダイレクトメールを送ってくる税理士事務所等は顧客獲得に熱心であるため、色々と融通が利く可能性があるでしょう。

(5) 知合いの税理士と会う

そもそも知合いが税理士の場合、こちらに聞いてみるのも一考です。なぜならその人は初めて会う税理士よりあなたのことを理解していますし、融通が利く可能性が高いからです。ただし、知り合いゆえにビジネスの付き合いができず、業務がおざなりになる可能性は否定できません。

さて、上記のように税理士に会う方法は色々ありますが、**この中で一番お薦めの方法は、インターネットの利用です。**確かにホームページを持っている税理士（事務所）はまだ多くないかもしれませんが、ホームページを見てどのような税理士（事務所）か、あらかじめ把握できた方がアポイントも効率的に行えることは言うまでもありません。また、メールのやり取りで連絡が始めることができるなど、アクセスが気軽に行えます。インターネットの利用は複数の税理士に会うためには一番効率的で気軽な方法だと考えられます。

さらに、ホームページを持っている税理士は一般的に IT 対応が進んでいると考えられ、あなたと業務のやり取りがスムーズになるでしょう（やり取りが全て電話と FAX だったら大変ですよ）。

ただし、ホームページで業務内容等を把握したからといって、それのみで決めてしまてはいけません。ホームページはあくまでその税理士の宣伝をするためのものであり、都合の良いことしか書かれていないかもしれません。**重要なのは実際に会って、色々話をし決めていくことです。**それも一人でなく複数の税理士に会って相対的な判断を下すことが重要です（複数会う中で、紹介や知合い等を含めるのはもちろん問題ありません）。

ところで、インターネットで税理士を探すのが一番効率的といっても、検索エンジンで検索キーワードを入力し、自分の好みそうな税理士のホームページを 1 件 1 件見てアポイント候補を複数選定する、というのもちよっと面倒かもしれません。だからといって、「ホームページだって探すのは面倒だよ」という怠惰な理由で、紹介や知合いのみで短絡的に税理士を決めてしまうのはやめてください。何度も言うように、ビジネスを成功させる上で税理士選びは重要であり、自分に最適な税理士を見つけるためには、複数の税理士と会うべきです。

このレポートの無断転載、税理士を探す目的以外での無断利用を禁じます

ところで、インターネットで税理士を探す手間を極力少なくするために構築したのが当サイト“最適税理士探索ネット”です。

数百名の登録税理士のデータベースを元に、①あなたの住んでいる地域、②依頼したい業務内容（説明書きがあります）、③あなたの業種を選択すると、該当する税理士のみが抽出されます。

つまり、当サイトで検索し該当した税理士は、ホームページで詳細を吟味するまでもなく全て「アポイント候補者」ということです。1人1人のホームページを見なくても、すでに当サイトの検索システムであなたに「ある程度ぴったり」な税理士が絞り込まれる仕組みとなっています。

また、同じ内容で複数の税理士に問い合わせメールを同時に送ることも可能なので、問い合わせの手間もかなり省略できます。

当サイトでは検索システムだけでなく、登録している税理士に対し、一括見積依頼を行うことが可能です。

あなたのリクエストを記載し、投稿するだけで複数税理士（平均10人超）から見積が届きます。当然見積を提出する税理士は、あなたのリクエストに応えられる方ですので、この時点で「ある程度ぴったり」な税理士が絞り込まれることとなります。その内容を吟味し、5名程度をピックアップして実際にお会いすればよいでしょう。

“最適税理士探索ネット”のご利用で、あなたにとってぴったりな税理士の候補者を複数ピックアップすることができるでしょう。

あとは、実際にお会いして本当にベストかご自身でご判断いただければと思います。

4. 税理士の報酬の相場は？

さて、気になるのが税理士の報酬です。その相場はいくらくらいなのでしょう。ズバリ答えはありません。なぜなら報酬は「時間数」と「単価」によって変動するもので、一概に定めようがないからです。あなたの業種、業態、規模、要求業務内容によって全く報酬額は異なるものとなってきます。相場を知りたいのであれば、複数の税理士に会うなどし、見積を依頼（“最適税理士探索ネット”ではシステムで一括見積依頼が可能）するのが一番良いと思われま（税理士によってはホームページに記載している場合もあります）。

【時間数とは】

時間数とは、あなたのリクエストする業務をこなすのにかかる時間のことを意味します。例えば税務申告書の作成のみなら年間ベースでそんなに時間はかからないかもしれませんが。一方、記帳代行（経理代行）、給与計算代行といった日常業務まで依頼する場合、それなりの時間を要するの言うまでもありません。また、事業のステージ等によっても処理の手間はだいぶ変わります。設立したての会社よりも、長年存続し売上も多額計上されている会社のほうが税理士の手間がかかるのは必然であり、それにより税理士報酬が高くなってしまふのは仕方ないことです。

【単価とは】

一時間あたりの単価を意味しますが、これは「誰が作業するか」によって異なります。大ベテランの所長税理士が担当するか、中堅税理士が担当するか、新米税理士が担当するか、或いは税理士資格を有していない補助者が担当するかによって単価は異なるでしょう。また、単価は税理士が自分の感覚で独自に決めるもので、税理士によっては、1時間数万円となる場合もあります。そのように単価がバラバラである以上、誰に業務を行ってもらうかについてはバランスを見極めながら決定する必要があるでしょう。

一般的に、月の顧問料が3万円もしないような安価な場合、ベンチャー企業等で業務量が少ない場合は別として、税理士が最低限の業務しか行わない（記帳代行を行わない）など、熱心に関与していないか、或いは税理士でない補助者が業務の大部分を担当しているケースがほとんどだと思われま。

税理士は最低でも単価を1時間当たり5千円～1万円程度は見るでしょうから（あくまで最低ラインであり、そうでないと事務所の運営が困難になります）、月額顧問料が3万円もしないような程度だと、税理士の関与は1ヶ月に数時間程度となってしまいます。数時間のサービスでできることは限られてしまうでしょう。また、税理士でない補助者が担当する場合、税理士より知識や経験が少ないため、業務の質が低下するかもしれません。

このレポートの無断転載、税理士を探す目的以外での無断利用を禁じます

いずれにしても、税理士自身に質の高いサービスを提供してもらうためには、ある程度の報酬を支払う必要があります。

ただ、設立したての会社や、業績が悪化している会社、開業したての個人事業主等はお金がありませんので、多額の税理士報酬を支払うことは難しいでしょう。そのような場合は、補助者にメイン（記帳代行等）を担当してもらい、税理士には数ヶ月に1回程度ちょっとの時間で相談に乗ってもらい、といった方法で税理士報酬を下げてもらいましょう。また、開業したての税理士は顧問先を増やしたいと思っている場合が多く、税理士自身の単価を低く設定している可能性が高いので、積極的にアクセスしてみてください。

繰り返しになりますが、報酬が決まる要素は「時間数」と「単価」です。「どんな人が」「何時間くらい」業務を行ってくれるのかで報酬が変わります。これらを意識しながら報酬交渉を行ってみてください。

ただし、記帳代行や給与計算代行を含めた顧問料が月に1万円を切るような場合、業務委託を考えたほうが良いかもしれません。月1万円でもレアケースですが、それを切るともはや真つ当なサービスが成立するとは考えにくいです（月額報酬以外の決算報酬等がめちゃくちゃ高い場合は別ですが）。税理士でない補助者のみで業務を行うにしたって安すぎます。「税理士に依頼する意義」が薄れるほど安価な業務委託はやめましょう。「安かろう悪かろう」ということでしょうか。積極的に疑ってください（ただし、かなり無理を言って税理士が融通を利かせてくれた結果、月額数千円の報酬になるような場合、「税理士に感謝」して業務をお願いしても結構だと思います）。

自分の業種、規模、要求業務内容に応じた報酬の相場を「複数税理士から見積をとる」ことで把握し、それよりも「著しく低い」報酬で行ってくれる場合は要注意かもしれません（場合によっては感謝してください）。仮に業務を依頼するとしても、何故安いのかについて、理解、納得してから依頼してください。でないと依頼業務が失敗し、顧問税理士を再び探さなければならない羽目となり、コストがかえって倍増してしまうことになりかねません。

5. 税理士に何を依頼すればよいのか

税理士の業務内容が分からなければ、何を依頼してよいか分かりません。これについては前述のとおり、複数の税理士に会って「自分はこの程度の知識があつて、このようなビジネスをしたい、報酬はこれくらい払える」といったことを話した上で、じゃあ何を行ってくれるのか？それ以外にどんなサービスができるのか？ということを知りたいと思います。複数の税理士に会って話を聞けば自分が何を依頼すべきかの確信が持てるようになるでしょう。

【参考：顧問報酬の内容の例示と依頼すべき顧問業務】

顧問税理士に対する報酬の種類（税理士にとっては顧問業務の種類）の一般例は下記となります。

- (1) 月額報酬・・・毎月の顧問料。各種相談や税務事務に対する報酬です。
- (2) 決算報酬・・・決算時の報酬です。決算時には税務申告書等の作成が必要であり、決算報酬は月額報酬の4ヶ月～6ヶ月分程度となる場合が多いようです。
- (3) 記帳代行・・・会計記録の記帳業務にかかる報酬です（経理代行）。
- (4) 給与計算代行・・・給与計算業務にかかる報酬です。
- (5) 年末調整代行・・・給料の年末調整を行う際の手続き業務にかかる報酬です。
- (6) 税務調査対応・・・数年に一度行われる税務調査に立ち会ってもらう場合の日当です。

上記(1)(2)(6)は依頼「必須」であり、(3)(4)(5)は「できれば」という感じでしょうか（依頼業務を増やせばその分税理士の手間がかかるため、報酬額の増加要因になります）。ただし、全て高度な専門知識が必要であり、自分で行うのは大変です。有能な経理担当者を雇わない限り、まとめて全部頼むのが一番良いでしょう。どの業務を含めていくらの報酬であるかを必ず確認してください。

“最適税理士探索ネット”では、上記顧問業務以外のコンサル業務等も含め、税理士業務の一覧、内容説明を行っている箇所があるので参考までにご覧いただくのも良いかもしれません。

http://www.zeitan.net/sub_contents/duties.html

6. 税理士と会うときに聞くべきこと（リスト）

税理士選びは、税理士の性格や人間性が重要視されることも多いかと思います。しかし、高いお金を払って業務を依頼するわけですから、その専門性やサービスについてもしっかりと把握する必要があります。あなたの貴重な時間を割いて税理士に会うわけですから、抑えるべきポイントはしっかり抑えていただきたいと思います。

【標準ヒアリングポイント】

(1) 訪問頻度はどれくらい？

税理士は税務にとどまらず、ビジネスやお金に関するパートナーです。困ったことは何でも逐次相談したいものです。それ故、月にどれくらい来てくれるのかは重要です。少なくとも月に1回は来てもらいたいものです。また税理士の訪問頻度が低い場合、代わりに誰かが業務を行う可能性があるため、実質的に誰が業務を行ってくれるのかを確認しておきましょう（税理士でない補助者かもしれません）。

(2) 経験年数はどれくらい？

税理士登録をするためには少なくとも2年間の実務経験が必要となります。そのため、経験年数が短くてもサービスの質は確保できるでしょう。また、経験年数が短い方がやる気に満ちている可能性が高いかもしれません。されど実務経験が長ければ、その分色々な会社と接し、業務をこなしてきているわけですから、アドバイスの引き出しも豊富であることが期待されます。

(3) あなたの業種経験がある？

経験がなくても税務業務を行ううえでは問題ないと思われます。しかし、あなたの業種経験があるほうが、アドバイスの引き出しも豊富であることが期待されます（守秘義務があるため、同業他社の実情をそのまま話すことはできませんが）。

(4) 必要最低限の情報技術（IT）を身につけている？

必要最低限の情報技術（メールやデータ送信など）を身につけている税理士でないと、あなたとの業務に支障が出てくる可能性があります。全てのやり取りを電話やFAX等のアナログな手法のみで行おうとすると不便かもしれません。

(5) 初年度は報酬を低く設定しているが2年目から値上げしない？

顧問先を確保するため、初年度の報酬を著しく低く設定する税理士は多いです。しかし低い報酬だと採算がとれなくなるため、2年目以降に報酬を大幅に上げるのが彼らの定石です。顧問税理士を交替するのは手間も費用もかかるので、値上げを飲まざるを得ない状況になりかねません。若干詐欺っぽいですが、よくある話です。もちろんあなたの業容が拡大し、税理士の手間が増えるような場合は報酬を上げる必要がありますが、そうでない場合は事前にそのような可能性があるか否かを確認しておくべきでしょう。

【上級ヒアリングポイント（料金高額プラン）】

（6）月次報告をやってくれる？

経営の実績を逐次数値で把握することで、将来の戦略を厳密化することが可能となります。少なくとも月に1回は実績を把握しておきたいところです（月次報告）。自社で経理を行う場合は別ですが、月次報告は税理士しか行ってくれません。月次数値を早いタイミングで把握することは経営を行う上で重要です（月末締め翌月「何日以内」に月次報告を行ってくれるかというタイミングの把握も重要です）。

（7）税金計算以外にどのようなサービスができる？

仮に「ビジネスのパートナー」として税理士を雇おう思っていた場合、実際は税金の話以外全くできません、といったことでは困ります。他の顧問先ではどのようなサービスを行っているのか聞いてみると良いでしょう。

（8）最新の税制をどのようにキャッチアップしている？

税制は毎年変わります。その変更に対応できない税理士では話になりません（意外と多いですが）。どのように最新の税制について勉強し（セミナー参加？税法熟読？）、従業員（税理士でない補助者含む）に教育しているか、ということは税理士（事務所）のサービスの質を保つ上で非常に重要です。

【最後のヒアリングポイント】

（9）いくらで業務を行ってくれる？

上記を把握できたら、あとはフィーリングの問題を除き、報酬がいくらかを聞くだけです。ある程度細かく聞いてもよいと思います。何人もの税理士に会い、比較、吟味のうえで顧問税理士を選んで下さい。

7. 税理士探し方マニュアル（まとめ）

税理士の探し方は下記ステップにより行われます。

- STEP 1 実際に税理士に依頼する決心をする
- STEP 2 自分の納得行く税理士を見つけるため、複数の税理士に会う決心をする
- STEP 3 会うべき税理士の目星をつける（5人程度）
- STEP 4 税理士に実際に会い、色々聞きまくる（上記6．リスト参照）
- STEP 5 税理士を一人に絞る

STEP 3を行う際に“最適税理士探索ネット”はあなたのお役に立つはずですが（完全無料）。是非ご利用ください。 <http://www.zeitan.net>

8. 税理士と付き合い上で覚えておくべきこと

税理士は、あなたのビジネスやお金に関するパートナーです。できるだけ良好な関係を築くべきでしょう。税理士に特別好かれる方法はありませんが、嫌われずにすむことは可能です。税理士が嫌がることを要求しなければよいのですから。

以下は税理士が特に嫌がるお客さんです。ご参考にし、良好な関係を壊さないよう心がけてください。

(1) 脱税を要求する

税理士は節税を徹底的に行ないますが、脱税のサポートはしません。脱税のやり方を指導したり、税務署に口を利いたり、というところが仕事だと思っている方がいますが、それはまったくのを勘違いです。

(2) とにかく急がせる

緊急性がある仕事はやむを得ないですが、そうではないどんな仕事についても、「至急」「今日中に」というオーダーをされる方がいらっしゃるようです。税理士は複数の顧問先に対してサービスを提供しています。自社の従業員のように1社専属ではありません。何でもかんでも、「至急」というのは対応が難しいのです。

(3) とにかく値切る

税理士業務には、事務所賃料や人件費、交通費、その他の経費がかかります。必要工数などからした適正報酬もあるでしょう。何が何でも適正報酬というわけではなく、お客様側の負担能力を考慮して、値引きをすることはあるでしょうが、負担能力や満足度や顧客価値に関係なく、とにかく執拗に値切ってくる方がいらっしゃいます。税理士との間には、信頼に基づくビジネスパートナーとしての関係を築くことが理想です。値切ったもの勝ちと言わんばかりの過度な値切りは、税理士との間の信頼関係を喪失します。

以上、ご精読ありがとうございました。税理士を探す際には是非当レポートをお役立てください。あなたが最適な税理士に巡り会えることを心よりお祈り申し上げます。

㈱アルフェアエンタープライズ
最適税理士探索ネット運営局